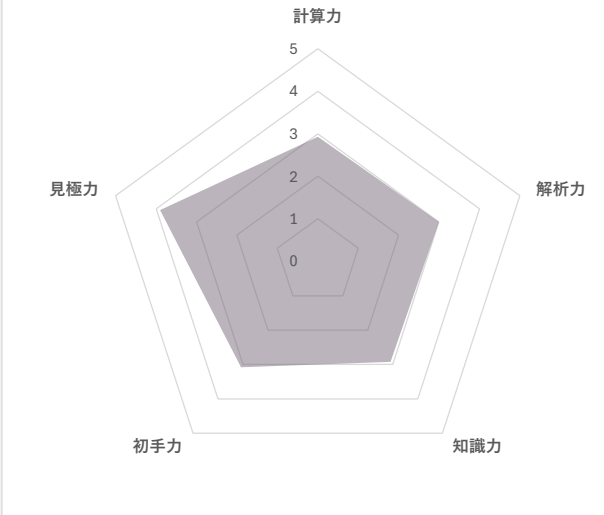


総合分析

試験区分 一般 (前期)

制限時間 50分 大問数 全 4 問

合格に要する能力 (5段階)



合格に要する能力 (5段階)

計算力	2.7	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.8	問題文を正しく読み取る力
知識力	2.7	解くことに必要な知識の量
初手力	2.9	初手の難しさ
見極力	3.7	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野

数学 I	18%
数学 A	35%
数学 II	38%
数学 B	0%
数学 III	0%
数学 C	10%

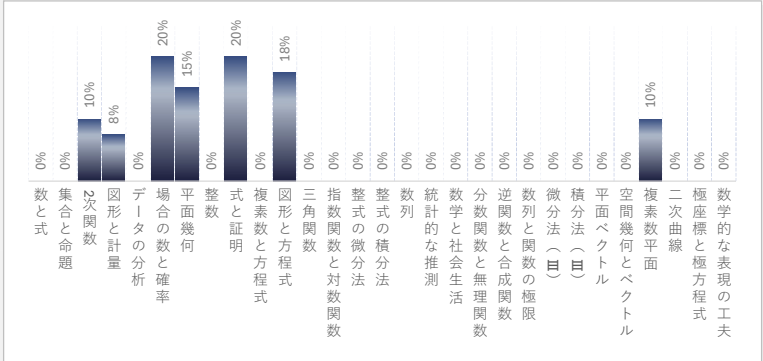
本年度 解答形式

マーク 100%

本年度出題テーマ一覧

第 1 問	小問集合
第 2 問	2点間の距離
第 3 問	平面幾何
第 4 問	重複組み合わせ

本年度 出題詳細分類



特殊問題の有無

記述なし	証明なし
統計なし	数Ⅲあり
	長文なし

総合評価

難度	3.0	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	67%
分量	50分	完答に要する時間 (制限時間は50分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。
- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る 大学が求める学生像

標準問題のみからなるが、幾何的な要素を含む問題もあるので、自分の解ける問題にどのくらいの比重をかけたかによって得点率が大きく変わってくるだろう。
 しっかりとした状況把握能力と標準的な対応力のある学生を求めていると考えられる。